



LKY(リー・クアンユー)生誕100年

北陸銀行 国際部
上席推進役
(前シンガポール駐在員事務所長)
上原 清志

1. はじめに

シンガポールの著名人として真っ先に挙げられるのが、「建国の父」故リー・クアンユー氏です。シンガポール初代首相としての功績は絶大であり、2015年3月に91歳で逝去した後も国民に慕われています。今年9月16日は彼の生誕100年に当たり、彼の功績を称えるべく記念硬貨発売や各種イベントが開催され、まさに英雄の域に達しています。そこで今回は、LKYことリー・クアンユー氏(以下、リー氏)について少しご紹介いたします。

2. リー氏の経歴について

リー氏は、1923年9月16日にシンガポールに生まれ、高等英語教育や英国式教養を身に付けながらケンブリッジ大学を首席卒業しました。その後、イギリスによるシンガポールの植民地支配を終わらせるべく祖国で政治活動を開始し、1959年5月、英連邦シンガポール自治州の首相に就任しました。

1963年9月にマレーシアの一州として英国からついに独立したものの、今度はマレーシアとの不仲を主因として、1965年8月9日に分離独立することとなりました。実質マレーシアから追い出されての独立だったため、当時の記者会見ではリー氏が悔し涙を流し、何回も会見を中断した映像が非常に有名です(動画配信サイトでも視聴可)。その後、強力なリーダーシップを発揮し、シンガポールをASEANで最も経済成長を遂げる国へと育て上げました。

1990年に首相の座を後任に譲り、2代目ゴー・チョクトン氏、3代目(現首相)で子息のリー・シェンロン氏をサポートすることで影響力を保持し、2015年3月23日に91歳で息を引き取るまで実に半世紀以上もシンガポールの発展に関わりました。

資源の圧倒的な不足に決して絶望することなく、徹底した外資誘致や経済優先政策を講じることで、シンガポールを世界でも類を見ない都市国家に育てた手腕はまさに「建国の父」と呼ばれるにふさわしいと言えます。

3. LKY100

そのような偉大な功績を残したリー氏の生誕100年(LKY100)を称えるべく、10シンガポールドルの記念硬貨が発売されました。現時点ではシンガポール国民と永住者が抽選で購入できますが、販売枠に余裕があれば年内に外国人などの長期滞在者にも販売が割り当てられるようです。

シンガポール国立博物館ではLKY100と称したイベントを開催しており、彼のスピーチ映像などが人気です(英語・マレー語・中国語が堪能)。政策を強く訴えるスピーチもあれば若者にユーモアを交えて語りかけるスピーチもあり非常に巧みです。世界的に有名なハブ空港であるチャンギ国際空港でも同様にイベントが開催されており、リー氏が財政面や将来の不確実性といった反対意見を押し切ってチャンギ空港を建設したエピソードなどが紹介されています。シンガポールの数々の発展は、その先見の明と思いついた決断があったからこそといっても過言ではありません。



【\$10の記念硬貨(事務所スタッフ撮影)】



【シンガポール国立博物館でのLKY100イベント(筆者撮影)】

4. おわりに

現首相のリー・シェンロン氏は次期総選挙(2024年)までに首相交代を明言しており、既に後継者も決まっています(強力なリーダーを持つというよりは集団指導体制に移行)。この動きはリー家による政治支配体制の終焉とも言え、シンガポール政治の新たな時代を予感させます。

国としての団結力を示すべく毎年8月9日に開催される建国記念イベントは毎回大変な盛り上がりになりますが、今年のLKY100もリー氏の功績を称えることに加えて、シンガポール国民にとって自分たちのアイデンティティを再認識する重要なイベントにもなっていると感じます。

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。
記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用いただきますようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
(株)人材情報センター内
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp